

チムグクル思いやり 優しさで考えよう

デニー知事トークキャラバン in横浜

沖縄県の基地問題と基地負担の現状、なかでも、喫緊の課題である普天間飛行場の危険性除去と辺野古新基地建設問題及び日米地位協定の問題について、一緒に考えてみませんか。

【プログラム】

① 玉城デニー沖縄県知事による講演

② トークセッション

【トークセッション出演者】

- ・柳澤 協二 氏／コーディネーター
- ・木村 草太 氏
- ・布施 祐仁 氏
- ・新倉 裕史 氏

③ 質疑応答

* 司会：榎森 耕助（せやろがいおじさん）

【トークセッション出演者資料】



【柳澤 協二】 やなぎさわ きょうじ

元防衛研究所所長、元内閣官房副長官補/安全保障対策・危機管理

- ・1946年東京都生まれ。
- ・1970年東大法卒・防衛庁入庁
運用局長・人事教育局長・官房長・防衛研究所長などを歴任
- ・2004～2009年 第2次・第3次小泉・第1次安倍・福田・麻生政権で
内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）として、北朝鮮核・ミサ
イル実験対処、自衛隊イラク・インド洋派遣、ソマリア沖海賊対処などに従事。
- ・2019～2020年 米軍基地問題に関する万国津梁会議委員長
現在、国際地政学研究所理事長、自衛隊を活かす～21世紀の憲法と
防衛を考える会代表、



【木村 草太】 きむら そうた

憲法学者／首都大学東京教授

- ・1980年横浜市生まれ。2003年東京大学法学部卒業し、
同年から同大学法学政治学研究科助手。
- ・2006年首都大学東京准教授、2016年から教授。
法科大学院の講義をまとめた「憲法の急所」（羽鳥書店）は「東京大学
生協で最も売れている本」「全法科大学院生必読書」と話題となった。
- ・辺野古問題との関わり：「木村草太の憲法の新手（46） 辺野古訴訟の
最高裁判断憲法反するあしき前例」を2016年に沖縄タイムスへ寄稿



【布施 祐仁】 ふせ ゆうじん

フリーランスジャーナリスト

- ・1976年、東京都生まれ。『ルポ イチエフ 福島第一原発レベル7の現場』で
平和・協同ジャーナリスト基金賞、JCJ賞を受賞。三浦英之氏との共著
『日報隠蔽 南スーダンで自衛隊は何を見たのか』で石橋湛山記念早稲田
ジャーナリズム大賞を受賞。著書に『日米密約 裁かれない米兵犯罪』
『経済的徴兵制』、共著に『主権なき平和国家 地位協定の国際比較から
みる日本の姿』など。Twitterフォロワー数は5.6万人以上。
- ・辺野古問題との関わり：2014年、Webサイト「ポリタス」への辺野古を
止めることが、普天間の危険性除去の「近道」として寄稿をはじめ、
県内二紙で辺野古問題についてインタビューを受ける。



【新倉 裕史】 にいくら ひろし

ヨスカ平和船団 メンバー

- ・1948年生まれ、
- ・1972年、米空母ミッドウェイの横須賀母港に反対する市民運動に参加。
以後基地の街で平和運動を続ける。「自衛官-市民ホットライン」など
兵士の人権問題にも取り組む。
- ・辺野古問題との関わり：2020年、神奈川新聞の日米安保60年特集
記事にて辺野古との関わり方の取材を受ける。沖縄県内での平和講演
実績あり。